

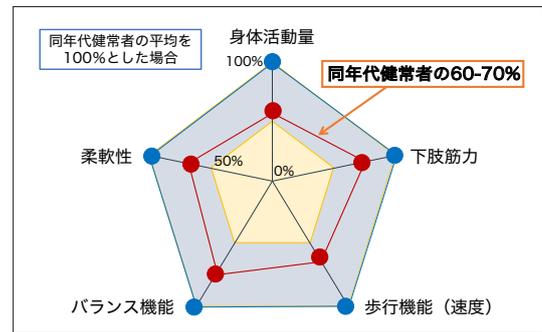


## 高齢透析患者の QOL 維持に対する 効果的運動プログラムの開発

キーワード 透析患者, QOL, 運動プログラム

### 研究内容

我が国における透析患者への医療的ケアは充実しており、諸外国に比べて予後が良好です。その一方、透析患者は心血管疾患や加齢に伴う身体機能の低下（図参照）が問題視されており、長期間の入院生活によって、同年代健常者と比較して生活の質（QOL）が著しく低い現状があります。このような現状に対し、我々は透析患者の身体機能特性に焦点をあてた研究を継続していますが、透析患者の身体機能を維持・改善させ、QOL 低下を予防する効果的な運動プログラムの確立に至っていません。そのため、高齢透析患者の QOL の維持に寄与できる効果的な介入方法の開発を、地域の医療機関と連携して進めています。



透析患者と同年代健常者の身体機能の比較

### 関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・血液透析患者の透析施設への通院手段と身体活動量の関連：REPnet-HD study. 日本透析医学会雑誌 2024; 57(7): 285-292
- ・Relationship among Falls, Fear of Falling, and Physical Activity Level in Patients on Hemodialysis. Physical Therapy & Rehabilitation Journal 2024; 104(7) pzae064
- ・Effect of Walkability on the Physical Activity of Hemodialysis Patients -A Multicenter Study-. Renal Replacement Therapy 2024; 10: 16
- ・特集 2 透析中の運動療法（指導） 透析中の運動療法（指導）のための身体機能評価. 日本腎臓リハビリテーション学会誌 2022; 1(2): 178-187

### 社会連携・産学連携の可能性

- ・効果的な介入方法の開発は、病院や福祉施設などの様々な場面において応用展開することが期待できます。
- ・他の疾患を有する対象者や地域在住高齢者に対する様々な調査や健康増進のための取り組みへの連携が可能です。